

人 チーム 制度



“フレックス制度”の導入

(株) KANSO テクノス 田代有希さん

(株) KANSO テクノスでは、フレックス制度（現在ではスーパーフレックス制度）を始めとし、リモートワーク制度などを運用しています。これらの制度等を活用し充実した日々を送られている方をご紹介します。



制度利用モデル 田代 有希

所属：環境部 アグリ事業グループ

勤続年数：5年目

・これまでの経歴

大学院で国内・海外の土壌を研究したことがきっかけで、環境に携わる仕事に就きたいと思い、KANSOテクノスに入社しました。入社後3年間は、施設園芸の試験や、環境汚染水に係る産官学連携の委員会運営に携わりました。入社4年目に妊娠・出産をし、入社5年目の春に育児休業から復帰しました。現在はいちご栽培事業に携わっています。

・現在の働き方

基本は本社勤務ですが、週に1、2回遠方へ出張に行っています。保育園の送迎に支障が出ないように、日帰りになるよう職場に配慮してもらっています。本社勤務の日は、フレックス制度と夫の育児参加のおかげで7:30 出社/16:30 退社という8時間勤務を実現できています。時には、夫が保育園の送迎が難しいことがあるので、時短制度やリモートワーク勤務を活用し、無理のない形で業務に従事しています。また、スーパーフレックスが導入されたおかげで、保育園のイベント（保育参観、個別面談等）も休暇を取ることなく参加することができています。今日もこうして仕事に集中できるのは、会社の制度や職場の上司・同僚の配慮、そして夫の協力のおかげです。本当に感謝しています。

(2021年12月 現在)

当社のフレックス制度の概要

項目	フレックス
コアタイム	コアタイムなし
フレキシブルタイム	始業時間 5時から 終業時間 22時まで
最低就業時間	4時間

当社のフレックスタイム制度の経緯

2017年6月 フレックス制度設立
2020年11月 リモートワーク制度設立
2021年5月 スーパーフレックス制度設立

育児経験が仕事に活かされたことはありますか？

「育児経験が活かされている」というよりは、「育児」という任務があることで、仕事の取り組み方を工夫するようになりました。まず、万が一の場合（子の発熱、臨時休園等）に備えて日々の業務内容を常に周知しています。また、何事も必ず締切日を聞くようにして、産休前よりも作業の優先順位を意識するようになりました。調査業務では、子の体調不良等で急にいけなくなった場合でも調査が実施できるよう、調査道具は同行する方に運んでもらう等の工夫をしています。



今後の目標をお願いします。

上司や同僚、会社の制度のおかげで育児と仕事の両立が実現できているので、まずは会社のために成果を出すことを目標にしています。また、職場には「恩返し」という言葉が適切か分かりませんが、配慮・協力していただいている分、周囲で困ったことやトラブルが発生した際には、積極的にサポートしていきたいと思っています。夫とは育児のパートナーとしてもより良い関係を築いていきたいです。

1日のタイムスケジュール

